



新羽小だより

令和6年(2024年) 2月28日
第599号
横浜市立新羽小学校
Tel 543-8871
Fax 543-2915

ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/nippa/>



人生を切り拓くもの

校長 佐藤 恵子

2月2日金曜日の給食の時間、テレビ放送を使って大谷選手から寄贈されたグローブを紹介しました。学校に届いたグローブは、右きき用が2つと左きき用が1つ。3つとも大谷選手のサインが刻まれています。3つ並べてテレビで紹介した後、大谷選手からのメッセージを読みあげました。「メジャーリーガーの大谷翔平です。わたしはこのグローブが、次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルになることを望んでいます。それは、野球こそが、わたしが充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。野球しようぜ。大谷翔平」

運動委員会の委員長さんと副委員長さんが、「ありがとうございます。」「大切に使います。」と言葉を添えてグローブを受け取ってくれました。そして、2月5日月曜日の中休み、大谷グローブを使った活動が始まりました。

2023年、メジャーリーグにおいて数々の偉大な成果を収めた大谷選手ですが、試合後のインタビューで「もっとうまくなってチームの勝利に貢献したい。」と話しているのをテレビで見たことがあります。もっと野球を極めたいと、高みに向かってひたむきに努力する姿、苦しい練習でさえも楽しむかのようにいきいきとふるまう姿、常に謙虚な姿勢で、出会った人や仲間感謝する姿は、野球ファンに限らず世界中の人々に希望と勇気を与えています。

グローブに添えられたメッセージから、大谷選手の「野球が好き。野球に感謝。野球をとことん楽しもう。」というまっすぐな気持ちが伝わります。人は、人生を切り拓く「何か」を見つけると、体中に大きな力が湧き、その「何か」を必死で追いかけて、目標を決めて一生懸命努力したりします。大谷選手にとってその「何か」は野球で、「野球こそが充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツ」なのです。野球に興味があってもなくても、「その何かを自分で見つけよう。そして夢中で頑張ってみよう。きっと生きたい人生がそこに広がるよ。」そんな熱い思いを感じるグローブの寄贈でした。

令和5年度学校報告会より

2月5日、ご多用の中参加していただいた保護者の皆様、誠にありがとうございました。学校報告会では、今年度の教育課程で力を入れたこと、工夫改善したことを話しました。そして、学校評価アンケート結果から考察し、今年度の主な成果と課題について説明しました。今後、さらに伸ばしたい資質・能力を明確にし、学校行事に係る学習内容を改善していきたいと思っております。次年度も新羽らしさを大切に、「わたしがかがやき みんながかがやく 新羽の子ども」の具現化に取り組んで参ります。